

秋の深まりが感じられる今日この頃ですが、朝晩と日中の気温差が大きいので、体調をくずしている人も多いと思います。2学期も半分が過ぎ、今は各学年とも11月7日の運動会に向けて練習を開始しています。当日は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、色々ご面倒をお掛けしますが、何卒ご理解ご協力をお願いします。

あいさつする子
しっかり学ぶ子
たのしく遊ぶ子

6年 平和学習 ヒロシマ

【地域のおばあちゃんからの聞き取り】

9月30日、地域のおばあちゃん6月まで見守り隊をしてきていた小出貞さんと山原八重子さんが、広島への平和学習の取組みとして、子どもたちに戦争の体験を語ってくれました。その中で、お二人が子どもたちに「あんたらが平和な世の中をつくるんやで。戦争ほど、残酷なものはない。」と強く、訴えてくれました。

【平和集会】

10月12日、「平和集会～広島へ行ってきます～」集会を開催しました。集会では、6年生全員が体育館から画面を通して、全学年にメッセージを伝えた後、みんなで作った折り鶴のお礼と平和への願いを届けることを約束しました。

【修学旅行1日目】

10月15日(金)朝6:15登校、校門前で検温カードを提出。出発式を行い、学校を後にしました。新神戸まではバスで、新神戸から広島までは、新幹線で移動。広島到着後、路面電車で原爆ドームに向かい、原爆の子の像前で慰霊祭を行いました。子どもたちは真剣な表情で、慰霊祭に取り組んでいました。その後、ボランティアさんと碑めぐり。終了後、平和資料館へ。被爆体験証言者八幡さんから「ご自身の体験されたこと」を聞かせて頂き、「命があれば、また、歩き出せる。命を大切に！」というメッセージを頂きました。子どもたちは熱心に聞き、感想では、「自分の生まれた時代がこの時代でよかった。」「核兵器の恐ろしさを知った。」というものでした。その後、平和資料館をクラスごとに見学しました。

【修学旅行2日目】

10月16日(土)6:15起床。バスに乗り宮島口まで移動し、フェリーで日本三景の1つ宮島へ。厳島神社にお参りして、楽しみにしていた買い物タイム。子どもたちは、お家の人へ持ち切れないほどのお土産を買いました。やはり、一番のお土産は「もみじ饅頭」です。その後、JRに乗り、広島駅へ。広島駅からは、新幹線で新神戸。バスで、東山小学校まで、無事到着。お迎えに来てくれた家族の方々を見て、バスの中では、大歓声があがりました。この二日間で子どもたちは、また少し成長したように感じています。

コロナ禍の修学旅行、色々ご協力ご支援、ありがとうございました。



すくすくウォッチについて

5・6年生を対象に「大阪府すくすくウォッチ」が、全国学力・学習状況調査と同日で実施されました。今回は、本校の傾向や今後の取組についてお知らせします。

実施目的

- ① 子どもたち一人ひとりが、当該学年までに理解するべき学習内容や、自分の学校や家庭での様子をふりかえり、自らの強みや弱みを知ったうえで、今後の目標を持つことができること。
- ② 学びの基盤となる言語活動や読解力、情報活用能力を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけること。

○結果

5年

科目	本校正答率 (%)	大阪府正答率 (%)
国語	83.4	81.6
算数	50.1	48.5
理科	56.1	49.2
わくわく問題	56.2	55.1

6年

科目	本校正答率 (%)	大阪府正答率 (%)
わくわく問題	62.4	65.1

○今後の取組み

変化の激しい社会を生き抜くために、話し合いなどを通じて課題の解決策を自ら考える主体的・対話的で深い学びを日々の授業の中で意識して取り組んでいく必要がある。本校の「教えて考えさせる授業」の「考えさせる」部分を今以上に意識し、児童には興味を引くチャレンジ問題の提示や、話し合い活動を十分にさせていきたい。

全国学力・学習状況調査について

6年生を対象に全国学力・学習状況調査が5月に実施されました。今回は、本校の傾向や今後の取組についてお知らせします。

○国語

平均正答率は、56.4%で全国を8.3ポイントも下回った。(対全国比0.872)領域等別に見ると「話すこと・聞くこと」の平均正答率は、7割以上(72.3%)で概ねできていると見られる。特に、目的や意図に応じて、資料を使って話すことについて、できているように見られる。一方、「読むこと」には課題が見られ、特に目的に応じ文章と図表を結び付けて必要な情報を見つけることや目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約することについて、できていない児童が多い。

○算数

平均正答率は、67.5%で全国を2.7ポイント下回った。(対全国比0.962)領域等別に見ると「測定」「変化と関係」「データ活用」の平均正答率は、7割以上(73.3%、72.3%、73.7%)で概ねできていると見られる。特に、棒グラフから数量や項目間の関係を読み取ることについては、できているように見られる。一方、「図形」に課題が見られ、特に、三角形の面積の求め方や図形を構成する要素などに着目し、面積の求め方と答えを記述する問題について、できていない児童が多い。

○今後の取組み

- ① 学び合い活動で自分の考えを自分の言葉で伝える活動を充実させます。
- ② 算数の授業で、生活に即した問題を増やしたり、「なぜそうなるのか」という根拠を使って説明させたりすることを大切にします。
- ③ 何事にも挑戦する心を育むため、学校教育活動全体を通して、人間関係づくりや自尊感情を高める取組を引き続き推進します。
- ④ 予習、復習、自主学習などの家庭学習の取組を大切にします。
- ⑤ 学校のきまりを守るという規範意識、いじめは絶対に許さないという人権意識を大切にします。